

評価委員会の検討事項及び検討スケジュールについて(案)

1. 評価委員会の検討事項

(1) 特別措置法に基づく評価委員会の所掌事務

特別措置法第25条によれば、評価委員会は、特別措置法附則第3項の規定に基づいて行う見直しに関し、次に掲げる事務をつかさどることとされている。

- ① 国及び関係県が特別措置法第18条第1項の規定により行う総合的な調査の結果に基づいて有明海及び八代海の再生に係る評価を行うこと。
- ② ①に規定する事項に関し、主務大臣等に意見を述べること。

(2) 具体的な検討事項

① 特別措置法第18条に基づく調査について

国及び関係県等が実施している調査の結果及び計画について報告を受け、その評価を行う。

(参考) 平成15年度に国及び関係県が実施を予定している調査の概要は別紙のとおり。

② 再生に係る評価の視点について

有明海及び八代海の再生に係る評価をどのような視点で行うべきか、検討する。その際、基本方針に掲げられた次のような目標が参考となるものと考えられる。

ア. 海域環境の保全及び改善

- ・ 水質環境基準の達成維持
- ・ 多様な生態系の回復
- ・ 干潟の保全、修復等

イ. 水産資源の回復等による漁業振興

- ・ ノリ・魚類養殖等について、安定的・持続的生産
- ・ 採貝等海面漁業について、生産量の回復
- ・ 有明海特産種の適切な保存・管理

③ 再生に係る評価について

①の調査の結果を基に、②の視点を踏まえ、有明海及び八代海の再生に係る評価を行う。

2. スケジュール

平成14年度

2月7日 第1回評価委員会

- ・ 委員会の設置について
- ・ 評価委員会の検討事項、スケジュール等について

3月24日 第2回評価委員会

- ・ 既存の調査・検討について
- ・ 平成15年度の調査計画について

平成15年度～

国及び関係県等による調査の結果及び計画の報告を受け、評価を行う。

関係者からのヒアリングを行う。

有明海及び八代海の再生に係る評価を行う(必要に応じ、中間的なとりまとめを行う。)

平成 15 年度において国及び関係県が実施を予定している調査等の概要 (案)

実施省・県	調査の概要	特別措置法 第 18 条第 1 項 各号の調査項目	調査名 (事業名、予算名) 等	予算額 (案) (千円)
文部科学省	<ul style="list-style-type: none"> ・環境観測技術衛星 (ADEOS-II) を用いたクドロファイル等の観測データの収集等を実施する (平成 12 年度から継続の共同研究)。 	8 号 (その他)	調査研究の推進 (宇宙開発事業団)	7,000
農林水産省 (水産庁)	<ul style="list-style-type: none"> ・アサリ等のろ過食性マクロベントスの浄化能力の評価、覆砂漁場における環境改善効果の調査を実施する。 ・赤潮や貝毒の原因となる有害なプランクトンの特性に関する調査研究を進め、被害抑制のための予察技術及び防除技術を開発するとともに簡便かつ迅速な調査・検査体制の確立のための技術開発等を行う。 	1 号 (干潟) 6 号 (赤潮、貧酸素水塊) 8 号 (その他)	水産基盤整備調査費 (直轄調査) 干潟活用環境改善方策調査 川上から川下に至る豊で多様性のある海づくり事業のうち、 赤潮・貝毒等被害防止対策事業費	未定 未定
	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海に関わる気象・物理・海洋学的要因について既存のデータを集約的に解析し、これら要因の変動過程を把握するとともにノリ養殖生産量や二枚貝等の漁獲量変動との間の相関関係等の解析を実施。さらにそれらの影響の機構を野外調査・室内実験によって解明する。 ・有明海・八代海における海域の環境と水産資源の関係について調査を実施。 	7 号 (水産資源)	行政対応特別研究 (有明海の海洋環境の変化が生物生産に及ぼす影響の解明)	未定
		7 号 (水産資源)	我が国周辺水域資源調査等推進対策のうち 漁場生産力変動評価・予測調査費	未定

農林水産省（水産庁） （前ページからの続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・ノリの品質に関与する遺伝子の機能解析を行い、安定的に高品質なノリを生産する品種改良技術の開発を行う。 ・閉鎖性水域をはじめとした漁場環境の悪化をいち早く把握するため、水温、水質、有害プランクトンの発生状況や底生生物の組成等を監視する。 ・沿岸水域の海洋調査を通じ海洋情報等を収集・分析し、地域資源の資源管理に必要不可欠な海洋環境の科学的な実態把握を行うとともに、関係都道府県の連携の下、海洋情報の共有化を通じた漁業関係者への適切な情報提供を図る。 	8号（その他）	先端技術を活用した有明ノリ養殖業強化対策研究事業	55,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖性水域をはじめとした漁場環境の悪化をいち早く把握するため、水温、水質、有害プランクトンの発生状況や底生生物の組成等を監視する。 	8号（その他）	川上から川下に至る豊かで多様性のある海づくり事業費のうち 漁場環境モニタリング調査事業費	未定
	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸水域の海洋調査を通じ海洋情報等を収集・分析し、地域資源の資源管理に必要不可欠な海洋環境の科学的な実態把握を行うとともに、関係都道府県の連携の下、海洋情報の共有化を通じた漁業関係者への適切な情報提供を図る。 	8号（その他）	資源管理体制・機能強化総合対策事業のうち 資源管理に必要な情報の提供	未定
	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海奥部の河川内漁港を対象に、土砂堆積の現状、メカニズム及び漁港利用の現状の分析、堆積土砂の低減方策を検証、浚渫によらない有効な堆積土砂対策方法を検討する。 	8号（その他）	水産基盤整備調査費（直轄調査） 有明海河川内漁港堆積土対策総合調査	未定
	<ul style="list-style-type: none"> ・覆砂効果に関する実証調査、計測方法等の検討 	8号（その他）	水産基盤整備調査費（直轄調査） 覆砂の効果等の持続性等に関する調査	未定
国土交通省（下水道部）	<ul style="list-style-type: none"> ・八代海流域において、流域別下水道整備総合計画を策定するために必要な各県で実施すべき負荷量の配分について調査、検討を行う。 	3号（負荷量）	八代海流域別下水道整備計画に関する基本方針策定のための調査費	未定
国土交通省（河川局）	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海及び八代海に流入する一級河川9水系の河川、ダム及び堰等において、水質等の調査を実施する。 ・河川流量の観測及びこれらに関わり得一タ整理等を実施する。 ・河川における土砂の動態に関わる調査を実施する。 	4号（河川の流況）	<ul style="list-style-type: none"> ・水質調査等 ・流量観測等 ・土砂の動態調査 	未定

国土交通省 (港湾局)	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海及び八代海において、調査観測兼清掃船を用いた定期的な水質等の監視測定を実施する。 	1号 (干潟) 2号 (潮流・潮汐) 6号 (赤潮、貧酸素水塊) 8号 (その他)	港湾整備事業費のうち、調査等に関する経費	未定
	<ul style="list-style-type: none"> ・干潟海域において、耕うん・湿気による干潟環境の変化を把握するため、現地試料を採取し、底質・底生生物調査を実施する。 ・漂流物の除去に関する調査及び底質浄化に関する調査を実施する。 ・航路浚渫等で生じる土砂 (泥質) を有効活用した干潟・浅場造成技術、造成時に必要な環境共生のあり方に関する調査を実施する。 	1号 (干潟) 3号 (負荷量) 6号 (赤潮、貧酸素水塊)		
環境省	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海及び八代海において、関係自治体による従来からの水質モニタリングを補完するための調査 (無機態栄養塩類やプランクトンのモニタリング) を実施するとともに、底質や底生生物を含む水環境モニタリングを実施する。 ・有明海及び八代海の集水域における発生源汚濁負荷量等を把握するための調査を実施する。 ・このほか、干潟等の浄化機能に関する調査、貧酸素水塊の発生機構に関する調査の実施について検討中。 	8号 (その他)	シギ・チドリ類渡来状況に関する調査・モニタリング	未定

福岡県	・海況の中長期変動を把握し、漁業生産の向上を図る基礎資料とする。 ・潮流流を利用したノリ漁場の高度利用技術の開発。	8号(その他)	浅海定線調査	未定
	・赤潮の発生状況を把握し、情報を関係機関に伝達することで漁業被害の防止、軽減を図る。 ・アサリ及びタイラギの食品としての安全性を確保するために貝毒プラシトン及び貝毒発生剤の状況を把握する。 ・漁場の底質環境と底生生物の生育状況を把握する。	6号(赤潮、貧酸素水塊) 8号(その他) "	漁場環境監視等強化対策事業 赤潮発生監視調査 貝毒発生監視調査 漁場環境調査	未定
	・タイラギ資源状況と漁場環境等からタイラギのへい死原因を明らかにするとともに、タイラギ資源の増大技術の開発を図る。	7号(水産資源)	二枚貝資源回復技術対策	未定
	・有明海全域における漁場環境の把握及び変動要因の解析、生物分布状況及び生態の解明、プラシトン発生機構の解明を行う。	6号(赤潮、貧酸素水塊) 7号(水産資源)	有明海ノリ等不作原因調査 有明海一斉調査 ・ 漁場環境構造の解明 ・ 生物生産過程の解明 ・ 漁場環境とプラシトンの増殖等の関係解明	未定

<p>福岡県 (前ページからの続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県地先における漁場環境の把握及び変動要因の解析、生物分布状況及び生態の解明、プランクトン発生機構の解明を行う。 覆砂海域等にタイラギを移植し、斃死原因等を調査する。 有明海に流入する主要河川の有明海に対する漁場環境への影響について調査する。 有明海の潮流と貧酸素水塊発生の動向について解析する。 	<p>6号(赤潮、貧酸素水塊) 1号(干潟) 7号(水産資源) 4号(河川の流況) 8号(その他) 2号(潮流・潮汐)</p>	<p>有明海精密調査 ・漁場環境モニタリング調査 ・赤潮プランクトン発生機構の解明 ・タイラギ移植調査 ・主要河川の負荷量調査 潮流・貧酸素水塊等解析</p>	<p>未定</p>
<p>佐賀県</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有明海及び有明海に流入する河川において、公共用水域調査(生活環境項目、健康項目、ダイキソ類及び要監視項目等)を実施する。 	<p>8号(その他) 1号(干潟)</p>	<p>水質環境基準監視ダイキソ類集中調査 大牟田川ダイキソ類対策事業</p>	<p>未定</p>
<p>佐賀県</p>	<ol style="list-style-type: none"> 干潟、浮泥等の物理・化学的な特性を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> 干潟の形成状況調査 浮泥の沈降特性及び凝集能 浮泥及び堆積底泥の窒素、リン等の吸脱着能、鈹物組成 浮泥及び堆積底泥の化学的輸送課程把握等 干潟浄化に寄与する有用細菌調査 <ul style="list-style-type: none"> 細菌の性状、浄化能力の把握 細菌の遺伝子レベルでの同定手法開発 大量培養技術開発等 	<p>1号(干潟)</p>	<p>干潟域研究費</p>	<p>6,000</p>

佐賀県 (前ページからの続き)	・ノリ、貝類養殖等の漁場管理や好適な漁場選定に資するために長期・短期的な海況変動を把握する。 ・貝類・ノリ養殖及びその他の漁業が、底泥や底棲生物に及ぼす影響を調査する。	8号(その他)	新漁業管理制度推進情報提供事業	1,027
	・赤潮及び貝毒原因プランクトンの発生要因に関する基礎的な水質変動を把握し、発生要因を解明する。さらに、予察を行い、ノリ養殖やその他の漁業の漁業被害を防止する。 また、貝毒の毒化調査を行い、原因プランクトン及び貝毒発生情報の伝達による被害の未然防止を図る。	8号(その他)	漁場環境変動モニタリング調査	120
	・沿岸漁場の水質調査により、環境の経年変化を把握する。	6号(赤潮、貧酸素水塊)	赤潮貝毒監視事業	1,734
	1) 漂流ブイによる潮流調査 2) 沖合モニタリング調査 ・貧酸素水塊調査 ・珪藻プランクトン等調査 3) 赤潮発生モニタリング 4) 稚仔魚分布調査 5) トビエイ生態調査 6) 干潟等生態調査	8号(その他)	漁場保全対策事業	670
	・公共用水域水質測定計画に基づき、流入河川、海域の常時監視。	2号(潮流・潮汐) 6号(赤潮、貧酸素水塊) 同上 7号(水産資源) 同上 1号(干潟)	有明海漁場環境緊急総合調査事業	15,432
		8号(その他)	水質環境基準等監視事業(県内全域)	21,527

長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・タイラギやサルボウ資源の回復に向けた浮遊幼生、稚貝の分布調査を実施する。 ・養殖アサリの生産安定に向け地元産稚貝の発生状況を調査する。 ・海域、河川等の公共用水域の水質保全を図るため、水質環境の監視測定を実施する。 	7号(水産資源)	諫早湾貝類資源回復技術調査研究	10,000
熊本県	<p>下記の内容について検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業場からの負荷量削減の方策の検討 ・内水面環境を保全するための河川の環境及び生物に関する調査 ・赤潮被害の防止を図るための、プランクトン及び水質の調査等 ・有明海及び八代海における赤潮発生や漁業生産の低下に関する漁場環境等の調査と対策の検討 ・アサリ稚貝の減耗原因を究明するための定着初期の生残状況調査 ・盛砂によるアサリ増殖の定量的な評価及び増殖手法の開発 ・有明海のタイラギ漁場におけるへい死原因の究明及び稚貝の生残のための技術開発 ・本県漁場における海況の周年調査及び海況等の変動を予測するための基礎資料の収集 ・干潟漁場の底質調査等 	3号(負荷量) 4号(河川の流況) 6号(赤潮、貧酸素水塊)	8号(その他) 公共用水域環境監視測定	24,752 (県全体)

<p>熊本県 (前ページからの続き)</p>	<p>8号 (その他)</p>	<p>・藻場の復元のための技術開発 ・本県の海域特性及び漁業実態に対応した資源評価手法及び効率的な調査手法の開発 ・主要魚種の資源評価を行うための漁獲状況の調査等 ・養殖場における環境への汚濁負荷を削減するための飼料の開発及び海藻との複合養殖の検討 ・ウイルス病や寄生虫病の対策のためのワクチン等の開発及び効果の検証 ・環境変化に対応したノリの多様な品種の開発及び養殖技術の開発等 ・魚類養殖における新たな魚病の対策の検討及び養殖場の環境調査等 ・有明海及び八代海の水質モニタリング ・放流効果が明らかにならない魚種の放流効果調査及び新たな有望魚種の栽培漁業技術の開発</p>	<p>水質保全対策事業費のうち公共用水域の常時監視</p>	<p>未定</p>
<p>大分県</p>	<p>8号 (その他)</p>	<p>・公共用水域の常時監視を実施し、筑後川水系の環境基準の達成状況や水質汚濁の状況を把握する。</p>	<p>赤潮対策調査事業 (全県)</p>	<p>未定</p>
<p>鹿児島県</p>	<p>6号 (赤潮)</p>	<p>・赤潮や貝毒の原因となる有害なプランクトンの特性に関する調査研究を進め、被害抑制のための予察技術及び防除技術を開発するとともに、赤潮情報交換により赤潮被害の未然防止を図る。</p>	<p>環境負荷低減技術開発事業 (全県)</p>	<p>未定</p>
<p>熊本県</p>	<p>8号 (その他)</p>	<p>・ブリ類を対象に関係県共通の基本飼料を基に、リン等を削減した高脂質タイプの環境負荷低減技術開発を行う。</p>	<p>環境負荷低減技術開発事業 (全県)</p>	<p>未定</p>

<p>鹿児島県 (前ページからの続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場環境の監視及び漁業公害に関する情報収集並びに被害時の防除措置等の指導を行うとともに、漁場に生息する水生生物の動態を指標として、長期的な漁場環境の変化を監視する。 ・クルマエビの資源管理を組み合わせた栽培漁業の推進体制の確立を図るために、放流追跡調査、干潟等における生息状況や漁場形成状況等の調査を実施する。 ・マダイ、ヒラメの種苗放流の効果調査等を実施し、栽培漁業の広域化と地域への定着を図る。 ・水質環境基準点等の監視をおこなう。八代海における8地点（基準点6地点（年6回）、監視点2地点（年6回））及び八代海に流入する3河川5地点（基準点4地点（年12回）、調査点1地点（年6回））で水質調査等を実施 	<p>8号（その他）</p> <p>7号（水産資源）</p> <p>7号（水産資源）</p> <p>8号（その他）</p>	<p>漁業公害調査指導事業（全県）</p> <p>クルマエビ栽培漁業定着化事業（出水市、東町）</p> <p>豊かな海づくりパイロット事業（全県）</p> <p>水質監視事業（全県）</p>	<p>未定</p> <p>未定</p> <p>未定</p> <p>未定</p>
-----------------------------	--	---	---	---